

令和 5 年 5 月 8 日現在

機関番号：32607

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2017～2020

課題番号：17H07223

研究課題名(和文)コミュニティ・オリエンテーション：教育プログラムの開発及び影響要因の探索

研究課題名(英文)Community Orientation : Development of Education Program and Explore of Influencing Factors

研究代表者

田辺 幸子(Tanabe, Sachiko)

北里大学・看護学部・准教授

研究者番号：50329827

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、地域保健看護師コミュニティ・オリエンテーション尺度(COCHN)を活用し、コミュニティ・オリエンテーション(CO)の影響要因を明らかにするとともに教育プログラムを提案することを目的とした。

フィジー保健省と協働で1.5日間の教育プログラム案を作成し、2018年8月から9月に78名を対象にプログラムを4回実施した。COの影響要因は質的分析のより3カテゴリー(物的資源、仕組み、教育支援)が抽出された。参加者の高い満足度を得た。教育プログラムの結果は混合研究法を用いて分析した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

COCHN尺度を用いた教育プログラムにより地域保健看護師の地域のニーズに基づいた地域保健活動への認識が向上する。具体的活用法は以下である。1. 尺度を地域保健看護師のリフレクションツールとして活用でき、新任期においても保健活動を行うために必要な考え方、姿勢、価値観が理解でき、自己の改善点が明らかになる。2. 職場でのケーススタディの分析ツール、指導者のコーチングツールとして活用することにより、経験の浅い指導者でも具体的に指導できる。3. 影響要因は環境整備や人事配置について活用できる。4. 本研究の成果は地理的・教育的背景の類似する大洋州島嶼国の地域保健活動支援の際の基礎となり得る。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to identify factors that influence community orientation (CO) and to propose a CO education program utilizing the scale, Community Orientation among Community Health Nurses in Fiji.

A 1.5-day program was developed in collaboration with the Ministry of Health and Medical Services Fiji. The program was conducted four times for 78 participants from August to September 2018. The qualitative analysis identified three categories of CO influencing factors; material resources, structure, and educational support. The educational program was received high satisfaction from the participants. The results of this program were analyzed using mixed research methods.

研究分野：国際看護

キーワード：国際看護 公衆衛生看護活動 情報管理 教育プログラム 大洋州 フィジー

1. 研究開始当初の背景

フィジーでは下痢症等の従来型の感染性疾患が未だに問題となっている一方、新興感染症、生活習慣病、交通外傷、精神疾患も増加傾向にあり、医療保健サービスのニーズは多様化している(フィジー保健省, 2013)。住民の最も身近で医療・健康増進の両面からこれらのサービスを提供する地域保健看護師は、地域の情報を効果的に収集・分析し、分析された情報を活かして地域保健活動を行うことが重要である。Proenca(1998)はこれらの活動をコミュニティ・オリエンテーションとし、必要な能力と前提条件を提案している。

高い知識や技術を身につけても性格が不適切では成果を見出せず(井部, 中西, 2004)、適切な認識、価値観、姿勢、つまり自己概念を有することが重要である(L. Spencer, S Spencer, 2003)。フィジー地域保健看護師も地域の情報は価値があるという認識、住民の意向を尊重する気持ち、得られた情報を活動に反映させようとする姿勢が必要であると考えた。そこで申請者これまでに、フィジー地域保健看護師を対象にコミュニティ・オリエンテーションの自己概念を測定する尺度を開発することを目的に3段階からなる研究を行った。第一に、文献レビューより本概念はフィジー地域保健看護師にも応用可能であることを確認した。第二に、優れたコミュニティ・オリエンテーションを有する地域保健看護師の特徴について参加者20名に半構成的面接を実施し、構造を明らかにした。第三に、本構造を基に「フィジー地域保健看護師コミュニティ・オリエンテーション尺度(以下、COSCHN)」案を作成し、フィジー全地域保健看護師(異動後半年以内を含む)226名に質問紙調査を行った。分析の結果、4因子構造30項目モデルが最適で、妥当性・信頼性が認められた。しかし、この質問紙調査は尺度開発が主目的であり、影響要因の詳細を解明することができなかった。そこで本研究は、影響要因の詳細を探索し、必要な支援についての提案を行うことを目的とする。さらに、開発されたコミュニティ・オリエンテーションSCHNを基に教育プログラムの試案を作成する。

2. 研究の目的

本研究は、開発された尺度を使ってコミュニティ・オリエンテーションの影響要因を明らかにするとともに、コミュニティ・オリエンテーション教育プログラム試案の効果を測定することを目的とした。

3. 研究の方法

混合研究法(質問紙調査および自由記載および教育プログラム中のワークシートの質的分析)

4. 研究成果

プログラムの開発に先立ち、フィジー地域保健看護師におけるコミュニティ・オリエンテーションの特徴、コミュニティ・オリエンテーションに基づいた地域保健活動に必要な態度についての尺度(以下、コミュニティ・オリエンテーション尺度)を再度検討し、学会、英文学術誌に発表した。

次に前年度に結成されたワーキンググループと協働でプログラム試案を作成した。プログラムの目的は以下とした。

1. 参加者はコミュニティ・オリエンテーションの重要性と職務との関連について説明できる。
2. 参加者はCOCHN30項目を職務中の経験を用いながら説明できる。

プログラムは研修デザインハンドブック(中村, パイク, 2018)を参考とし、知識・技術を獲得するだけでなく、職務に反映できることを狙いとして研修内容を考案した。そのためには学んだ理論を職務に活用するために体験に適應されて理解するプロセスを重要と考えた。そこで、研修の冒頭で講義によりコミュニティ・オリエンテーションおよびCOCHNを説明した後、グループワークを用いて理解を言語化、共有、発表する機会を多く取り入れた。また、コミュニティ・オリエンテーションを職務で活用する具体的なイメージや対応策を講じることを目的に、コミュニティ・オリエンテーションの促進、阻害する要因について話し合う機会を設けた。理解を促進することを目的としてプログラムの半ばで振り返りの講義を取り入れた。本研修は地域保健看護師を対象としているが、フィジー保健省の提案で、研修を実施する主体となる指導者も対象とした。また、研修期間は業務への影響を最小限にとどめられるように1.5日間とした(Table1)。

プログラム試案は保健省看護部長、地方保健局長に実施の許可を得た。また、研究実施前に所属大学研究倫理委員会(HM18-152)およびフィジー保健省研究倫理委員会(2018.153MP)の承認を得た。

2018年に保健省保健師40名(38名参加)指導者40名(40名参加)を募集し、プログラムを4回実施した。プログラムの有効性の検証はプログラム評価質問紙(6項目5段階評価:大変に合意する~大変に合意しない)コミュニティ・オリエンテーション尺度

(30項目5段階) リフレクションシート、研修中のワークシートを用い、質的・量的方法を用いて分析した。

プログラム評価質問紙の評価5段階を点数化して(例:大変に合意する5点、大変に合意しない1点)平均点を算出したところ、4.40~4.82と高い評価を示した。参加者の研修の学びに関する内容分析では、『地域活動に地域の情報の活用する重要性』、『地域での地域看護師と住民の関係の在り方を再認識』、『コミュニティ・オリエンテーション CHNの活用した自己研鑽と人材育成』が抽出された(Table2)。

2020年3月にフォローアップ研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により実施できなかった。

関連要因の特定に関しては、コミュニティ・オリエンテーション尺度得点と関連要因の関係を分析、ワークシートを質的に分析した。年齢、職場内同僚の有無、経験年数、研修回数の各2群検定に有意差は認められなかった(Table 3)。

Table1. Educational Program on Community Orientation among Community Health Nurses (EPCOCHN): Program Outline

Component (duration)	Objective	Topics and contents
Opening/orientation (20 min)		Opening address by Chief Nurse (Director, Nursing Division) of the MHMS, objectives and outline of the EPCOCHN, participant introductions
Lecture 1 (90 min)	Understand the CO concept	Background and process of the COCHN study Cover the health situation in Fiji, the competency model, define community orientation, describe the conceptual framework of CO among community health nurses in Fiji, the COCHN, and influential factors
Group Discussion 1 (90 min)	Review community health activities	Best community health activities Give examples, list unique features/characteristics of the best community health activities
Group Discussion 2 (90 min)	Analyze CHN behavior for community health activities	CHNs with exemplary performance of community health activities Give examples, list unique features/characteristics, categorize
Group Discussion 3 (90 min)	Understand the COCHN items	Examination of each of the 30 COCHN items Rate degree of agreement, elaborate on the meaning of the items
Lecture 2 (60 min)	Increase understanding and importance of the COCHN	Review and re-cap Objectives of the EPCOCHN, summarize group work, the competency model, define community orientation, review the conceptual framework of CO among community health nurses in Fiji and the COCHN
Group Discussion 4 (45 min)	Identify external factors that support/affect CO activities	External factors influencing CO-based activities Identify factors that support/influence CO-based activities
Individual Work 1 (90 min)	Retain and apply knowledge to practice	Reflection Writing assignment of participant reflection sheet: "Why is CO important for CHN work?" and "How does one apply/utilize the COCHN?"

Table 2. Participant Understanding and Views on Community Orientation and the COCHN (Community Orientation among Community Health Nurses)

Category	Sub-category
Utilizing community intelligence in community activities	Relevance to health policies
	Needs assessment
	Consensus building
	Activity management
Relationships with community members as a CHN	Importance of trusting relationships
	Approach community members to maintain close relationships
Human resource development tool	Self-assessment tool
	Supervising tool
	Education tool for nursing students

Table 3. Mann-Whitney U test of COCHN (N=33)

	N	%	Trusting Relationships		Commitment		Consensus Building		Initiative Promotion	
			Mean Rank	<i>p</i> value	Mean Rank	<i>p</i> value	Mean Rank	<i>p</i> value	Mean Rank	<i>p</i> value
Age										
≤ 31 years	19	57.58	16.08	0.529	18.79	0.226	19.11	0.152	18.84	0.212
≥ 32 years	14	42.42	18.25		14.57		14.14		14.50	
Working facility										
Health center	24	72.73	16.17	0.437	17.25	0.827	17.58	0.592	17.29	0.796
Nursing station	9	27.27	19.22		16.33		15.44		16.22	
Years employed as CHN										
≤ 3 years	15	45.45	13.97	0.153	13.47	0.089	14.03	0.165	15.53	0.602
≥ 4 years	17	51.52	18.74		19.18		18.68		17.35	
Total years employed as a nurse										
≤ 8 years	18		15.53	0.218	17.53	0.986	18.00	0.755	18.22	0.653
> 8 years	16		19.72		19.72		16.94		16.69	
Workshop attendance in the past year										
< 7 times	18	54.55	15.06	0.215	15.94	0.509	15.75	0.421	14.61	0.126
≥ 7 times	15	45.45	19.33		18.27		18.50		19.87	

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 3件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Sachiko Tanabe, Satoko Yanagisawa, Silina Waqa-Ledua, Mereani Tukana	4. 巻 6
2. 論文標題 Identifying characteristic features of community orientation among community health nurses in Fiji	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nursing Open	6. 最初と最後の頁 1113-1123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/nop2.305	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Sachiko Tanabe, Satoko Yanagisawa, Silina Waqa-Ledua, Mereani Tukana	4. 巻 7
2. 論文標題 Community Orientation Scale among Community Health Nurses in Fiji: Scale development and psychometric evaluation	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Nursing Open	6. 最初と最後の頁 1367-1378
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/nop2.508	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Sachiko Tanabe, Kayoko Hirano, Satoko Yanagisawa, Silina Waqa Ledua, Mereani Tukana	4. 巻 Online ahead of print
2. 論文標題 Evaluation of an Education Program on Community Orientation among Community Health Nurses in Fiji	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nursing Open	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/nop2.1712	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計5件（うち招待講演 0件/うち国際学会 3件）

1. 発表者名 Tanabe, S., K. Hirano., Yanagisawa, S., Waqa Ledua, S., & Tukana, M.
2. 発表標題 Community Orientation among Community Health Nurses in Fiji : Development of Education Program
3. 学会等名 The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Tanabe S., Yanagisawa S., Ledua S., Tukana M.
2. 発表標題 Development of Community Orientation Scale among Community Health Nurses in Fiji.
3. 学会等名 The 6th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田辺幸子, 平野かよ子, 柳澤理子, Silina Waqa Ledua, Mereani Tukana
2. 発表標題 保健看護師におけるコミュニティ・オリエンテーションの影響要因：フォーカスグループインタビュー
3. 学会等名 第35回日本国際保健医療学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田辺幸子, 柳澤理子
2. 発表標題 コミュニティ・オリエンテーションに関する文献レビュー
3. 学会等名 第33回日本国際保健医療学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sachiko Tanabe, Satoko Yanagisawa
2. 発表標題 Community Orientation for Community Health Nurses in Fiji: Conceptual Development
3. 学会等名 International Nursing Research Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------